そよかぜだより

2014
8月号

そよかぜ歯科医院のURL
http://soyokaze-dc.com

8月（葉月）

暦の上では立秋を迎えましたが、いまだ暑い日が続いています。こう暑い日が続くと、食欲もなくなり夏バテをしていませんか?体温を下げる野菜を食べることが、夏バテ予防に効果的と言われています。例えば、キュウリ、トマト、トウモロコシ、オクラ、ゴーヤ、なす、ピーマンなどの野菜が挙げられます。これら全てが夏に旬を迎える野菜です。つまり、旬の野菜を食べることが、体調管理にも繋がるということです。

旬の野菜を食べて、今年の暑い夏を乗り切りましょう。

第３８回流山花火大会

2014年8月23日（土）
場所➡1丁目～3丁目地先江戸川
時間➡19：00～20：30
※小雨決行（荒天時は2014年8月29日（金）に延期予定）

審美歯科治療について

今回からは、審美歯科治療に関してお伝えします。審美歯科治療は、歯の本来持っている歯や歯肉の形態および色調の改善を目的とした歯科治療です。

歯が美しく見えるものとしてミッドライン、ガムライン、スマイルラインがあげられます。図1には、ミッドライン（正中線）を示します。歯の真ん中の線が中心にそろって左右対称に歯列が整っています。図2には、ガムラインを示します。歯肉と歯の境目のラインが左右対称の曲線を描くほど歯の理想的なバランスが保たれています。図3には、スマイルラインを示します。にっこりとした時に前歯の先端のラインが下唇のラインに沿っていると美しく見えると言われております。この場合、エナメル質は半透明の組織なので、歯の色を白くするだけでは不自然になってしまいます。そのため、透明感があることにより美しく見えます。

この様々なラインの整った歯や歯肉の形態、色調にするため審美歯科治療で行う方法としては①歯の形の審美歯科治療②歯並びを整える審美歯科治療③歯肉の審美歯科治療④歯の本来の色調を取り戻す審美歯科治療などがあげられます。

そもそも、歯の色素沈着はなぜ起こってしまうのか、それを改善するためにはどうすればよいのか、原因と治療法について次回からお話ししていきたいと思います。

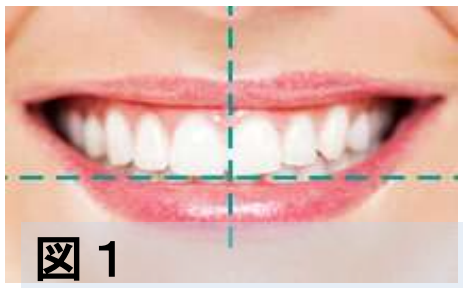


図１

図２

図３

●院長より

今回から、審美治療についてお伝えしております。審美治療は「お金がかかる」、「社会保険で対応できない」などの声を耳にします。

しかしながら、「そよかぜだより」では、全ての審美治療が保険外治療ではないことも併せてお伝えしていこうと考えています。特に、歯のクリーニングについては保険の範囲で充分に対応できますし、歯周病、むし歯の疾病予防にもなります。歯の色調も白く、透明度が取り戻せます。

さらに、色調を白く、綺麗にと考える方は保険外治療に進むことがありますが、そのような色調を求めて実際に受ける方は10%程度と言われています。

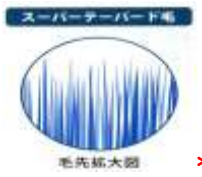
私どもは社会保険で行なえる審美治療をメイン考え、それ以上の審美的要求がある患者様に保険外診療を説明させて頂いております。まず、健康的審美治療を第一に考えてみてはいかがでしょうか?

歯ブラシの新商品

歯周病安定期（SP-T）向けの歯ブラシが入りました！！

歯周病安定期とは、歯周病の状態が安定してる状態の事をいいます。

・植毛数が多いため歯肉の中を傷つけずに磨けます。
・全体がコンパクトなので口腔内で動かしやすいです。
・細くしなやかでソフトな*スーパーテーパード毛



*毛細い